



総合型地域スポーツクラブの鍵をにぎる人と組織

—ボランティア組織をマネジメントする—

総合型地域スポーツクラブには、21世紀の生涯スポーツの姿を描き出す可能性が期待されている。しかし総合型クラブの育成・発展をめぐるには、その活動拠点となる施設や財源など経営資源の調達にその阻害要因を看することも多い。また、一般的に想定される総合型クラブは、行政の下部組織としてのクラブでもないし、民間営利のクラブでもない。総合型クラブは、住民の自発性に基づき組織されるクラブ、自ら各種スポーツ事業を展開する意欲と能力を持ったクラブであることは言うまでもない。それゆえ、既存のスポーツ団体との活動拠点の共同利用や財源の調達なども、これら自発性とクラブ運営の能力を持った人材に支えられていることになる。“総合型クラブの育成・発展は人にある”とすることができるが、育成の実践をめぐるにはスポーツ指導者をはじめ、クラブ運営に携わる人材が確保できないといった悩みや、中心となる人材が見つからない、一部の住民がクラブ運営を任されてしまっているといった課題が指摘されている。

クラブ会員が集まるクラブ、指導者やクラブ運営委員が集まるクラブとはどのようなクラブなのであろうか。そこにはどのようなクラブマネジメントがあるのであろうか。

この問いは、総合型クラブの設立から将来にかかわるマネジメント課題であるとともに、総合型クラブが紡ぎだす地域の未来にかかわる重要課題でもある。総合型クラブの特徴として指摘される“多世代”“多種目”“自主運営”などは、単に総合型クラブの形態の問題だけではなく、“多様な住民が集う”ことにその意味を見いだすことができよう。

一方、住民の自発性に基づいた総合型クラブのようなボランティア組織のマネジメントでは、協力者の参加の自由度の高さから、組織的な協力体制を作り出すことが難しいとされる。総合型クラブのボランティア活動の中で、関係者がいかに自己実現をし、住民の人間関係を創造していくかは総合型クラブのマネジメントの大きな課題となろう。

本スポーツ経営フォーラムでは、総合型クラブをめぐる人材のマネジメントに焦点を当て、その確保やネットワークの方法などについての情報交換の場とした。そして総合型クラブが、“依頼型”“動員型”のボランティア組織に陥らないためのマネジメントの可能性を探りたい。



1. 日 時 平成20年12月6日(土) 13:00~17:00
2. 場 所 東京体育館 第一会議室
東京都渋谷区千駄ヶ谷 1-17-1 TEL 03-5474-2111
(最寄駅:JR中央線(普通)・総武線「千駄ヶ谷」下車 徒歩1分)
3. 対 象 総合型地域スポーツクラブの設立・運営に携わる関係者、体育指導委員、
体育協会関係者、市区町村のスポーツ行政担当者 等
4. 主 催 日本体育・スポーツ経営学会
5. 後 援 (社)全国体育指導委員連合
(財)東京都スポーツ文化事業団(東京都広域スポーツセンター)
茨城県教育委員会(茨城県広域スポーツセンター)
栃木県教育委員会(とちぎ広域スポーツセンター)
(財)群馬県スポーツ振興事業団(群馬県広域スポーツセンター)
千葉県教育委員会(千葉県広域スポーツセンター)
神奈川県立体育センター(神奈川県広域スポーツセンター)
埼玉県広域スポーツセンター
山梨県広域スポーツセンター
6. 内 容
受付 (12:30~)
- (1) 問題提起 (13:05~14:15)
「ボランティア組織のマネジメント –その特性と課題–」(仮題)
立教大学コミュニティ福祉学部准教授 藤井敦史 氏
- (2) パネルディスカッション(14:30~16:50)
「総合型地域スポーツクラブの育成・発展とボランティア」
- ①人材の発掘と協働の確保
市川スポーツガーデン国府台広報企画部長 末永陽一 氏
- ②多様な人材の組織化とマネジメント
NPO法人スポーツ・サンクチュアリ川口副理事長 山本和江 氏
- ③人材のネットワーキングとその活用と課題
NPO法人調和 SHC 倶楽部会長 小川時雄 氏

7. 参加費 2,000円

8. 申し込み方法

定員は120名です。

下記の学会事務局まで、電話・FAX・
電子メールにて申し込み下さい。

別紙参加申込書をご活用ください。

※ 申し込み期限:11月30日(日)

日本体育・スポーツ経営学会事務局

〒305-8574

茨城県つくば市天王台1-1-1

筑波大学 体育経営学研究室

TEL&FAX 029-853-6363

E-mail: jsmpes@sakura.cc.tsukuba.ac.jp

